

# 平成26年度 市の主な取り組みを紹介!

平成26年度の市の一般会計の予算総額は、509億4,570万円となっています。そこで、今年度の市の主な取り組みとその予算額などを紹介します（予算額は万円未満を四捨五入しています）。取り組みについての詳細は、本庁の各担当課へお尋ねください。

## 天草エアライン(株)の新たな航空機購入を支援

天草エアライン(株)は、天草地域における唯一の高速交通機関として、天草地域の経済や観光、地域振興などに必要不可欠な航空路を運航しています。この航空路は、都市圏から天草地域の医療機関に通勤する医師などの交通手段として年間560回も利用されており、地域の医療を支える翼とし

て大切な役割を担っています。この航空路を維持し、安全で安定した運航を確保するため、合併特例債を活用し同社による新たな航空機の購入を支援します。

天草エアライン(株)では、7月に航空機の発注を行い、平成28年1月からの運航開始を目指します。

航空機購入の支援にかかる費用：  
21億468万円  
（平成26年度：2億5,984万円）  
（同27年度：18億4,484万円）

◆購入を予定している航空機の概要  
航空機名：ATR42-600（プロペラ機）  
製造企業：ATR（フランス）  
旅客数：48人乗り  
（現在の航空機は39人乗り）



▲ATR42-600

担当課：地域政策課

## 交通不便地域の解消を目指して

交通不便地域の解消に向けて、路線バス利用者の動向などを調査するとともに、予約型乗合タクシーなどの新しい公共交通の導入に取り組みます。

予算額：1,646万円



担当課：地域政策課

## 10月から 子ども医療費の無料化を 中学校3年生まで拡大!

少子化対策、子育てがしやすいまちづくりとして、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの疾病の早期治療の促進と健康の保持を図ります。

予算額：2億4,675万円



担当課：子育て支援課

# 環境と共生のまちづくり

環境保全については、近年、地球規模での環境問題がクローズアップされるなか、国内あるいは地球規模で、環境保全に向けたさまざまな対策が講じられています。

本市においても、平成23年度から同30年度までを期間とする



▶レジ袋削減・マイバッグ推進運動のようす

「天草市環境基本計画」に基づき、環境と調和した豊かな生活を維持し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、環境の保全等に取り組んでいるところです。

そこで、本年度も住宅用太陽光発電システムの設置について引き続き支援を行い、地球温暖化防止に積極的に取り組むほか、他の再生可能エネルギーの可能性についても調査・研究してまいります。

また、レジ袋の削減、マイバッグ運動の推進、菜の花プロジェクト等の取り組みなどを通して、市民の皆様の環境意識の向上を図り、ごみの減量・再資源化および海岸漂着物対策等への取り組みを進めてまいります。

現在、本市が進めています汚泥再生処理施設整備事業は、老朽化した施設の更新施設として整備するものです。

本年度は、敷地造成と施設本体工事に着手しますが、環境への負荷が少ない資源循環型社会の形成を目指し、施設の完成に向け慎重に進めてまいります。

なお、本年度は「天草市環境基本計画」の中間目標年度にあたりますので、社会情勢の変化

## 職員力の向上

職員には、市民の皆様に対する「奉仕の気持ち」を持つことを徹底させてまいります。

私は、常日ごろから職員に對しまして、気づき、目くばりを忘れぬようにと申しております。

市民の皆様の中に立ち、市民の負託にスピーディーにこたえることが「市民満足度」の向上につながるものと考えています。

職員数が減少する中、業務の効率化は進めなければなりません。限られた職員でこれまで以上

や計画の達成状況を点検・見直すとともに、引き続き、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

の業務を行うためには、職員の接遇の向上はもとより、資質の向上にも努めてまいります。

また、市政運営にあたっては、私と職員とが一体となって取り組むことが不可欠です。職員とのコミュニケーションを密に図って、意識の共有化を図ってまいります。

特に、これからの市政を担う若手職員には、私に対して積極的に事業説明を行ってもらうなど、接する機会を数多く持つよう努めているところでもございます。